

大崎上島町 社協だより

No.143

2015(平成27)年3月発行

〒725-0401 広島県豊田郡大崎上島町木江5-9
社会福祉法人 大崎上島町社会福祉協議会 (TEL 0846-62-1718)
ホームページ <http://www.syakyo.net/>



外出支援サービス ～「ありがとう」の言葉に支えられて～

大崎上島町では、バスなど公共の交通機関を利用するの通院が困難な方で、ご家族から送迎の支援が困難な高齢者や障害者の方に対して、外出支援サービスを行っています。

運転協力員となっていただくには、国土交通大臣が認定する簡単な講習会の受講が法律で義務付けられています。

昨年受講され、運転協力員として活動されている方からメッセージをいただきました。



橋本 千栄子さん

両親が亡くなり、何か高齢者の方のお役に立てればと思い申し込みました。ご利用者の方からの「ありがとう」「またお願いします」という言葉が嬉しく、何よりの支えになっています。

昨年の講習会は、大崎上島からの参加者は私ひとりだったので正直不安でしたが、分かりやすい説明で楽しく受講することができました。

病院の待ち時間は読書などをしています。気負わず、自分のできる範囲で、無理なく協力することが長続きする秘訣かなと思っています。

運転協力員を募集しています

今年の講習会は次の通り開催されます。

日程：4月18日（土）と4月19日（日）の2日間

会場：下見福祉会館 東広島市西条下見5丁目4-8

※受講に係る、交通費、受講料などは社会福祉協議会が負担します。

ご協力いただける方は、3月31日（火）までに本所へご連絡ください。

☎ 大崎上島町社会福祉協議会 本所：(0846) 62-1718

よろしく
お願いします



～地域づくり会議・平成26年度報告～

みんなが安心して安全に暮らせるように

支え合いマップを使って
地域づくりに取り組んでいます

社会福祉協議会では平成20年度より、住み慣れた地域で、みんなが安心して安全に暮らせるように地域づくり会議を開催し、今年度で33地区での会議を終えることができました。今後も声をかけ合い、助け合える“互延助”（ごきんじょ）を目指して地域づくりを継続していきますので、ご協力ください。



★今年度(26年度)は木江地区の岩白区と三里浜区の2地区で会議を行いました★

岩白区



岩白区では5年後の岩白を良くするためにというテーマで「健康」「家族」「食」「自然」「仕事(役割)」「住まい」「友人」「伝統文化」などのテーマの中から、自分にとって必要なものをカードに書き、岩白区にとって大切なものは何か探っていました。

●話し合って気づいたこと(地域の課題)

- ・店が遠いので車がないと大変
- ・イノシシの被害
- ・島外にいる家族の連絡先の問題

●大切にしていかなければならないもの

- ・人とのふれあい(コミュニケーション)
- ・あいさつをすること
- ・人が集まる場所

●地域で出来ることは何か

- ・昔のように横のつながりを持ち、気がかりな人の様子を見守ることを大切にしていく。
- ・伝統行儀(祭り・しめ縄作り等)を引き継ぐ若い人の養成・継承。
- ・年代に関係なく出来る人でやっていく。

●会議を終えて…(感想)

- ・改めて区の事を考えることが出来た。
- ・この会に出席して勉強になった。
- ・今まで以上に取り組まなければならないと思った。

みんな気軽にサロンに来てね～!

「小町座」のお芝居を観て、皆さんにも認知症について知ってほしいね。



サロンスタッフを中心にサロンの案内チラシを作成し、参加者を募集しました。



サロンで“大輪投げ大会”の後に記念写真



三里浜区

支え合いマップを通して地域を再確認

●話し合って気づいたこと(地域の課題)

- ・道路がせまく、救急車が入れない道もある。
- ・近い将来、買い物支援が必要になってくる。

●地域でできることは何か

- ・近所同士が仲良くすること
- ・声かけをすること
- ・困っている人の手助けをする。
- ・自分がしてほしいことを人にしてあげる。
- ・昔ながらの行事を続けていくこと

●会議を終えて…(感想)

- ・地域の状況が改めて良くわかった。
- ・話し合った内容を他の人にも伝えたい。



2年前に復活した「とんど」、今年もスポーツ少年団の子供たちを招待し、餅つきを楽しみました。



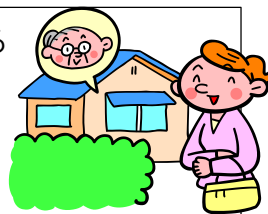
まずは「あいさつ」・「声かけ」から・・・地域のつながりを大切にしたいですね。

♥ あなたのまわりに気がかりな高齢者はいませんか？ 救急医療情報「命の宝箱」

さりげない見守りをお願いします。

日常の小さな「気づき」が大切です。たとえば…

- 郵便物や新聞が郵便受けにたまっている
- 家を訪ねても顔を出してくれない
- 夜になっても家に明かりがつかない
- 外出している姿を見かけなくなった
- 庭の手入れがされてない。洗濯物が干されていない
- 家の中から高齢者を大声で怒鳴る声が聞こえる
- 服装が不自然なまま外出している
- 顔や腕などに不自然なあざが多くなった
- 見慣れない人が家に出入りするようになった
- 話をすると、知り合いがなく寂しいと悩んでいた
- 最近引っ越してきたが、周囲になかなかなじめなさそう



もしもの時に備えて医療情報や連絡先等を自宅の冷蔵庫に保管し、救急時に活用するものです。

今年度は岩白区・三里浜区・大田区の3地区で命の宝箱が全世帯に配布されました。

大崎上島町社会福祉協議会では、地域づくり会議と並行して命の宝箱の普及啓発に取り組んでいます。



なにか気がかりなことを感じたら、早めに相談機関までご連絡ください！

誰でも頼めるんよ♪



みんなも出来るんじゃけ

お互い様のかみじまネット

高い所
掃除

重たい物
移動

通院の
付き添い



窓や天井掃除



ベット・洗濯機移動



通院の付き添い

暮らしの中でのちょっとした困りごとをお手伝いします！
かみじまネットは、困りごとのある人（利用者）と、お手伝いできる人（協力員）が支えあい、助け合っていく活動です。利用出来るかどうかの相談は気軽にご相談ください！現在、通院の付き添いなどの協力者を大募集中！

利用料
300円

+

助成金
300円

=

活動費
600円

平成26年度大崎上島町

サロン世話人連絡会 2015.03.05 (木)

「サロンの情報発信力を高めよう」と題して、講師を島のデザイナー 三浦 啓史さんをお願いし、サロン案内チラシづくりのコツを教えてくださいました。「**気持ち伝わるデザイン**」のポイントは

- ① 情報を整理する
- ② 優先順位をつける
- ③ イラストを楽しく置いてみる
- ④ レイアウトを揃える



サロンスタッフ同士で交流を深め、
お互いのサロンがどのようにチラシ
を作ったらよいのか、参加者に呼び
かけたらよいのか等を学びました。



～案内チラシ作ってみました～



「サロンの情報発信力を高めよう」
デザイナー 三浦 啓史 氏

今回は、サロン協力者の情報提供と
してふれあい工房さんのパンの販売、
警察さんの啓発活動、商工会さんによる
買い物支援事業などの紹介を行いました。
サロンでは今後も地域の方の協力を募集しています！

一度はサロンへ来てみんさい♪

木江地区 地域活動研修会

1月29日(金) 木江保健福祉センターで、竹原警察署大崎上島分庁舎 浅田功警部補から、詐欺被害にあわないためには、「わけのわからない電話はすぐに切る」「子供の名前は絶対に言わない」「訪問販売には“いない”と言い切る」ことを。また、車の運転時は、思い込みではなく周囲の状況を確認するよう指導をしていただきました。

最後に社協職員から、みんなが気軽に楽しめるゲームで交流しました。



東野地区 地域活動研修会

2月6日(金) 東野保健福祉センターに総勢188名が集まり研修会を開催しました。

第1部は、地域包括支援センターから、認知症と物忘れの違いや、自分らしく生活するには専門機関への相談、早めの受診、日頃からの近所づきあいが大切だと言う事を学びました。

第2部は、竹原警察署大崎上島分庁舎 松浦寛典警部補に、高齢者の事故が多発する原因の多くは運動能力の低下や視野が狭くなること。予防策としては、安全確認、心に余裕を持った運転、免許証の自主返納。また、ウォーキング時には、反射材使用する等を指導していただきました。



カメラボランティア 石田俊策さん撮影



カメラボランティア 藤原知佐子さん撮影

大崎地区 地域活動

～ 中野 八幡神社の平和塔清掃活動 ～

大崎地区の単位老人クラブでは、中野八幡神社にある平和塔(戦没者供養塔)に今年も10クラブが当番制で清掃献花活動を行いました。(延参加者約350名)

活動を通じて戦没者の御霊に感謝し併せて永遠の平和を祈念しました。



みなさんと一緒に 住みやすいまちをつくります！

地域包括支援センター（略称＝ほうかつ）

もしもの時のために伝えておきたいこと。あなたなら、どうしますか？

もしも...の時に備えて。

あなたが自分の考えを伝えられなくなった場合に備えて、前もって受ける医療に対する希望を、家族や医師に伝えておくことは重要なことです。

「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」とは、事故や病気などで自分の考えを伝えられなくなった場合に備えて、あなたの人生観や思い、考え方などを文書に残し、これから受ける医療やケアについて思いを表明していく手順のことです。

もしも...の時に備えて ACPの5つのステップ

- Step 1 あなたの希望や思いについて考えましょう。
- Step 2 あなたの健康について学びましょう。
- Step 3 あなたの代わりに意思決定をしてくれる人を選びましょう。
- Step 4 医療に関するあなたの希望や思いについて伝えましょう。
- Step 5 あなたの考えを文書にしましょう。

ほっとこーなー

3月7日は、何の日？

消防記念日。昭和25年、広く消防関係職員及び住民の方々に「自ら地域を自らの手で火災その他の災害から守る」ということへの理解と認識を深めていただくために制定されたそうです。



《相談窓口・問い合わせ》

大崎上島町地域包括支援センター（担当： 藤原 小松 田原 ）

大崎上島町木江5-9（木江保健福祉センター内） ☎67-0022



ご寄付ありがとうございました

お寄せいただいたご寄付は、福祉のまちづくり推進のため、有効に活用させていただきます。

【平成27年2月11日～平成27年3月11日お申し出分】

【香典返し】

- ・中野 竹本 正史 様 (故母 チズエ様)
- ・中野 平本 博海 様 (故父 實夫 様)
- ・原田 平田 敦嗣 様 (故父 盛行 様)
- ・木江 長尾 俊彦 様 (故母 サダエ様)
- ・木江 大石 秀勝 様 (故母 董 様)
- ・明石 小山 巧 様 (故妻 緑 様)
- ・明石 梅田 照子 様 (故夫 昭心 様)

【生前のお礼】

- ・木江 望月 武 様 (故従兄弟 聖喜様)

【一般寄付】

- ・木江 中本 克弘 様 (福祉機器借用のお礼)
- ・匿名 (2名様)



お知らせ

「車いす」を4台
いただきました



大崎上島中学校よりいただいた車いすは、生徒会の声掛けで、約8年間にわたり、空き缶のプルタブを回収し、その収益金で購入されたものです。

この車いすは、軽量コンパクトで、旅行や通院など、お出かけの際の貸し出しに活用させていただきます。

温かいご支援ありがとうございました。

“家族会”は知恵の宝庫 介護者家族会 ～4月定例会のご案内～

- 日時** 平成27年4月10日(金)
午前10時～11時30分
- 場所** 大崎老人福祉センター
1階「すまいる一む」
- 内容** 「どうなる介護保険」
- 対象者** 在宅で介護をされている方

認知症の人と家族の会 ～4月定例会のご案内～

- 日時** 平成27年4月24日(金)
午前10時～11時30分
- 場所** 大崎上島開発総合センター
研修室1
- 内容** 「今後の認知症の情報提供」
- 対象者** 認知症状がある方、在宅で介護をされている方

ふくし相談会



- 日時** 平成27年4月7日(火)
午後1時30分～2時30分(受付)
- 場所** 大崎上島開発総合センター
研修室1
- 内容** 介護保険の利用・内容など福祉に関する相談
- 対象者** 大崎上島町にお住まいの方